

平成 22 年 11 月 4 日

練馬区保育園父母連合会

会長 柳沢 健二 様

練馬区健康福祉事業本部児童青少年部

保育課長 内木 宏



公立保育園の施設改修と防犯対策、待機児解消に関する要望書（回 答）

日頃より、練馬区行政にご理解・ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

平成 22 年 10 月 21 日付でいただきました貴父母連合会からの要望書につきまして回答いたします。

1 <施設に関する要望>

1 3 項目の要望をいただきました。併せて「3 <防犯対策>⑤」につきましては、現在具体的な各保育園施設の状況について把握に努めています。ご要望の 2 週間を越えてしまいましたが、後日回答いたします。

2 <耐震工事や園舎建て替え計画について>

「練馬区耐震改修促進計画」及び、平成 22 年 3 月策定の「第二期区立施設改修改築計画」において平成 27 年度までに全ての区立施設の耐震化を行うこととなっています。この二つの計画は練馬区のホームページから内容をご覧いただけます。

大地震に備えて、「保育園防災の手引き」を策定しています。また、保育園では毎年 9 月 1 日大地震を想定した防災訓練を行っています。詳しい内容は各保育園にお尋ねください。

園舎建て替えにあたっては保護者の方のご意見を伺う説明会等を行っています。

3 <防犯対策について>

保育園では園児が安心して保育園生活がすごせるよう防犯対策として「不審者侵入時の対応マニュアル」を策定しています。設備面ではオートロックドア、カメラ付ドアフォンを設置するとともに催涙スプレー・ネットランチャー等の防犯用品も揃えています。更に年数回の防犯訓練を行うとともに警察署との連携も密にし学校 110 番を設置しています。

オートロックは常時施錠を原則としています。しかしながら登園者が多い時間帯や開錠対応が十分に取れない時間帯などには各保育園の実態に合わせた運用を行っています。オートロックの開錠について通常の時間帯は事務室で管理していますが事務室で開錠できない時間帯（早番、遅番等）においては、各保育室でモニターを確認のうえ開錠しています。

建物の構造上、園庭を通行しなければならない保育園の対応について、オートロックシステムは、建物でセキュリティを保持する考え方であるため、職員が手薄になる場合は施設全体の施錠を行っています。